

第6回錯覚ワークショップ

2013年3月14日(木), 15日(金)

明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 7階 1073講義室

(JR御茶ノ水駅から徒歩5分 http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide)

入場無料

3月14日(木)

12:55-13:00 開会のあいさつ

13:00-14:00 「コンテンツにみるパロディと錯覚」

吉田正高(東北芸術工科大学教養部)

14:00-15:00 「特許・論文から見た錯覚の技術発展」

七丈直弘(文部科学省科学技術政策研究所 科学技術動向センター)

(15:00-15:30 休憩)

15:30-16:30 「錯視と順応」(仮題)

伊藤裕之(九州大学芸術工学研究院)

16:30-17:30 「錯覚は役に立つ! 服装と化粧品における錯視の活用」

森川和則(大阪大学大学院人間科学研究科)

コンテンツ

錯覚技術

知覚世界への適応

服装・化粧

から

立体視

3月15日(金)

10:00-11:00 「S3D(立体視)映像は眼に毒か？」

羽倉弘之(デジタルハリウッド大学大学院・三次元映像のフォーラム)

11:00-12:00 「注意と錯覚—視覚的注意の不全が誘発する見落とし—」

武田裕司(独立行政法人産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門)

(12:00-13:30 昼食休憩)

13:30-14:30 「静止画が動く錯視の生起メカニズムと脳内機構」

蘆田宏(京都大学大学院文学研究科)

14:30-15:30 「色を見るメカニズムと、それにまつわる錯覚」

栗木一郎(東北大学電気通信研究所)

15:30-16:30 「認知的錯覚で成り立つサプリメント広告」

石川幹人(明治大学情報コミュニケーション学部)

見落とし

メカニズム

サプリメント
広告

まで

主催: 明治大学先端数理科学インスティテュート 錯覚と数理の融合研究プロジェクト
JST, CREST「数学」領域「計算錯覚学の構築」

共催: 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数理学の形成と発展」

問合せ先: JST, CREST「計算錯覚学の構築」代表杉原厚吉 kokichis@isc.meiji.ac.jp